

2023年7月13日
実施報告

午前の部 参加校

86人の児童の皆さんにご参加いただきました!

【愛知県】	豊田市立 中金小学校	5年生	3人
【神奈川県】	横浜市立 新井小学校	5年生	24人
【神奈川県】	川崎市立 向丘小学校	6年生	36人
【沖縄県】	沖縄アミクスインターナショナル	5年生	23人



午後の部 参加校

99人の児童の皆さんにご参加いただきました!

【熊本県】	南関町立 南関第二小学校	6年生	15人
【神奈川県】	横浜市立 新井小学校	5年生	24人
【神奈川県】	川崎市立 向丘小学校	6年生	36人
【沖縄県】	沖縄アミクスインターナショナル	5年生	24人



参加校の先生より

- ・他校との交流がとてもよい経験になりました。メディアとの付き合い方についても、(児童は)受け取る側と発信する側それぞれの立場に立って考えることができましたと思います。
- ・児童は、準備の段階から楽しんで取り組んでおりました。自分たちの学校の特色は何かということを考え、学校の良さについて再認識することができていました。そして、他の小学校の人に伝えるにはどうすればよいか話し合い、工夫した発表をすることができました。
- ・子どもたちが他県の児童さんと交流しながら授業ができたことが嬉しかったようです。大興奮でした。情報の受け手、送り手として、どう正しく情報を扱い、どう正しく情報を得る・発信するか、改めて子どもたちが考えるきっかけになったと思います。
- ・情報を受け取る時に「送り手」「受け手」の視点で整理することは子どもたちにとっても新鮮だったようで、新しい気付きを得ることができていました。また、全国の学校の皆さんとも交流することができたので、「もっと積極的に意見を言った方がよかったかも」などのように、子どもたち自身が学習に対する姿勢について振り返ることができていたようです。メディア・リテラシーに正しい、間違っている、はないですが、これから子どもたちが大人になるうえで、何か「気付ける」人になってほしいと願うばかりです。
- ・(進行の)テンポもよく、メディア・リテラシーとは何かが伝わったと思います。また他校との交流も楽しんでいました。



参加児童へのアンケートより

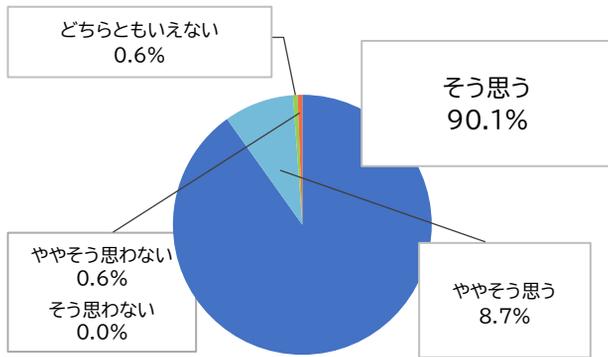
学んだこと

- ・加工してもよいけれど、迷惑がかかるかもしれないことを考えるのが大事だと思いました。
- ・その情報が正しいか・今はどうなっているのかを調べることが大事だと思いました。
- ・送り手の意図に応じて、加工されたり編集されていることを頭に入れておく。

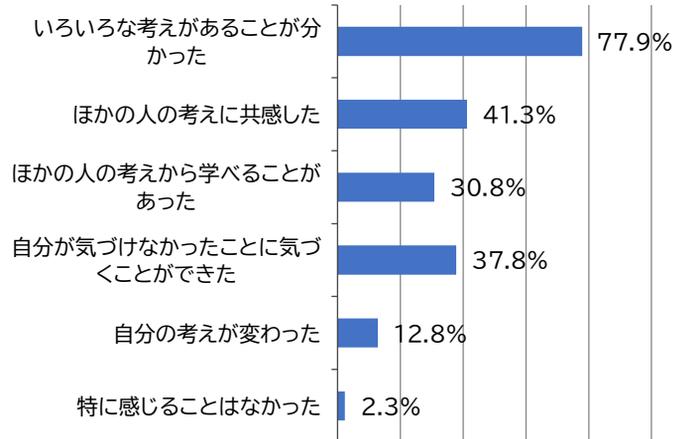
これから生かそうと思うこと

- ・送り手が思っている印象と受け手が思っている印象が変わってしまうことがあるから気をつけたい。
- ・アップとルーズを使い分けたい。
- ・送り手の目的を考えて動画を見たいです。

Q.この教室は楽しかったですか。



Q.ほかの学校の発表を聞いて、 どんなことを感じましたか。(複数回答可)



午前の部 進行役・大橋 拓アナウンサーより

4校とも最後まで発表の手を挙げ続けてくれて、私も楽しかったです。やや難しいかな?と思う問いかけに対しても、しっかりと発言し、一生懸命考えている姿に、教室の中で学びを得てくれていると感じました。今後もNHK for Schoolなどを活用しながら、メディアについて考えてくれると嬉しいです。



午後の部 進行役・早坂 隆信アナウンサーより

書籍やテレビ、SNS。私たちは様々なメディアを日常的に使います。そのとき大切なのは「メディアの向こうにいる送り手、受け手を想像する」ということです。顔が見えづらいからこそ、相手に思いをはせることの大切さに気づいてもらえたらうれしいです。危険を避けるだけでなく、生活をより豊かなものにできるよう、これからもメディア・リテラシーを磨いていってほしいと思います。

